光村ポケット

中学校 道徳

vol.5

問い返しのキホン



1 「問い返し」って、どうやるの？

2 問い返しのパターン集

LINE公式アカウント友だち募集中!
授業づくりに役立つ情報を、
いち早くお届けします。

光村図書

教授用資料 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

「問い返し」って、どうやるの？

どの教科でも「教師の問い返しが生徒の考えの深まりを左右する」といわれます。
では、道徳科の授業では、どんな問い返しの工夫ができるのでしょうか。
札幌市立上野幌中学校の真壁佑輔先生にききました。



ポイントは「広げる・深める」「過去・現在・未来」



札幌市立
上野幌中学校
教諭
真壁佑輔（まかべゆうすけ）先生

まずは、今日の授業で生徒といっしょに考えたいことを教師自身が意識すること、そのうえで、生徒の発言を「広げる」のか「深める」のかを判断するようにしています。また、授業を通して、生徒が自分の経験（過去）と向き合い、今の自分（現在）を見つめ、これからの自分（未来）について考えることができるように、問い返しをしています。

ある クラスの授業

教材は
1年「裏庭での出来事」
（光村図書　きみが いちばん ひかるとき）

発問 ❶

一人で職員室へ向かっているとき、健は、どんなことを考えていたでしょう。

Aさん：「逃げるのはよくない」って思ってた！

Bさん：本当は引き返したかったんじゃないかなあ……。

先生：Aさんも Bさんも、いい発言だったね！ ここまでいろんな意見が出て、皆さん、健のことをよく考えられていたと思いますよ。

発問 ❷

自分の行動に責任をもつとは、どういうことでしょう。

Aさん：いつも誠実であること！

先生：とってもすてきなことを言ってくれたね。誠実に行動することは、大切なことですね。

もうひと工夫するなら

問いのねらい：無自覚な自分の過去を見つめて考えを深める

どうして「逃げるのはよくない」と思ったの？

理由を問い返すと、きっとA さんからは「もやもやし続けるのは嫌だから」など、発言の背景にある思いが出てくると思います。これは、生徒自身の体験や潜在的な考えが基になっています。つまり、**この問い返しは、生徒が、主人公を通して自分の過去を見つめることにつながります。**
また、私だったら、続けて次のように問いかけたいですね。

問いのねらい：クラス全体に広げ、現在の自分を自覚する

AさんとBさんの意見だったら、みんなはどっち派？ 理由も教えて。

授業者と発言した生徒だけのやり取りにせず、クラス全体を巻き込みましょう。どちらを選んでも、正解でも不正解でもありません。理由を聞き合う中で、他者の考えに共感したり疑問をもったりしながら、生徒は、無自覚だった現在の自分の考えを意識していきます。**現在の自分を自覚することは、「人間としての生き方」にまで考えを深めるための、大事なステップになります。**

もうひと工夫するなら

問いのねらい：発言の意味を共有し、各自の考えを広げる

「誠実」って、どういう意味？

と問い返します。「誠実」のような概念的な言葉は、雰囲気で使われがちで、「伝えたつもり」「わかったつもり」になりやすいものです。でも実際は、**生徒によって言葉から想像していることはかなり違う。この違いを、各自が考えを広げるきっかけにします。**生徒が「自分にとっての意味」をきちんと自覚したうえで伝え合えるように問い返しをしたいですね。
それを踏まえて……

問いのねらい：ここまでに考えたことを、未来の自分につなげる

これから、もし健みたいな立場になったとき、みんなは誠実でいられそう？

と、さらに揺さぶる問い返しをします。きれいごとを言うのは簡単ですが、人間には「わかってはいるけれど、できない」こともある。ここでは、「自分の中にもある、健のような弱さ」にも気づいてほしい。例えば、友達との関係を気にしてしまったり、叱られたくない気持ちを優先してしまったりして、誠実でいられなかった……。この気づきから、きれいごとである「誠実」を実現するためにはどうすればよいのかと、自らに問わせるのです。**「誠実」な自分になるためにはどうすればよいのか、未来の自分へと目を向けられるとよいでしょう。**

問い返しのパターン集



どんな発言にも対応できる万能な問い返しはありませんが、授業場面を想定していくつかのパターンを把握しておくと、生徒の発言に直感的に対応できるようになっていきます。

問い返し例	いつ使う？	効果やポイント
なるほど。 〇〇さんは、 そう思ったんだね。 他の人はどう思う？	導入など、 生徒の発言をたくさん 引き出したいとき	授業の始めにテンポよく発言を聞いていくことで、発言しやすい雰囲気作りにつながります。また、その日の授業で考えるテーマについて、各自がどういう認識をしているかを把握することもできます。
今、〇〇さんが 言ったことって、 どういうことかな？ 誰か説明してほしいな。	全員が同じ意見で 授業が停滞気味のとき	誰にきいても同じような答えしか返ってこないことがあります。でも、一見、同じような意見でも、別の人が言語化すると、違いが見えてきます。
	発言者が うまく言語化できず 困っているとき	無理に発言者に述べさせようとせず、「□□さんはこう言っていたけれど、みんなはどういうことかわかる？　説明して！」と、教師が「教えて」という姿勢を見せると効果的です。
どうしてそう思ったのかな？ そう感じたのって、 どんなときかな？	生徒の発言を、 掘り下げる 必要があるとき	発言の根拠を言語化させることで、生徒自身が気づいていなかった自分の考えの背景に気づくことができます。また、生徒がなぜその発言をしたのかを把握することで、その後の問い返しにつなげられます。
そうは言っても、人間って、 できないこともあるよね。 わかっていても、 できなかったこと、 ないかな？	中心的な発問や 授業の終盤などで、 発言がきれいごとに 偏りがちなとき	道徳的な理想通りの行動を取ったり、考えたりすることの難しさに目を向けさせることができます。ただし、できないことを責める雰囲気にならないように注意が必要です。「人間は誰しもそのような側面をもっている」ということにつなげましょう。
両方に共通していることは、 ないかな？ （違うように見えるけど、実は、） 両方とも大切にしていることは、ないかな？	意見が対立して、 話し合いが 膠着状態にあるとき。	ただの言い合いになってしまうと、深めてほしいポイントから離れてしまうことがあります。それぞれの意見の共通点を見つけ出すことで、授業で考えてほしいことに着目できるようにします。

光村図書

教授用資料
発行者　吉田直樹
発行所　光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111（代表）
デザイン　東京100ミリバールスタジオ
イラスト　野本雄一郎

光村図書ウェブサイト
光村図書